



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として持続可能な社会構築に取り組む～

環境大臣
小泉 進次郎 殿

令和元年 10 月 1 日

ワタミ株式会社
代表取締役会長 渡邊 美樹

「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」

ワタミグループは、事業活動（外食事業・宅食事業・食品製造事業・農業・林業・エネルギー事業）において持続可能な社会構築を実現するために、環境法令遵守および環境負荷の低減を図ります。また、SDGsを本業の中で実践し、エコ・ファーストの約束を達成します。

1 低炭素社会の実現に向け、省エネ・再生エネルギーの導入により CO₂ 排出削減を推進します。



- 2040年までに RE100 を達成します。
食品製造工場、外食事業店舗、宅食事業営業所、本社事務所で再生可能エネルギーの導入を推進します。
- 施設の設備改善や省エネルギー活動に努め、事業活動における CO₂ 排出を削減します。
- 有機農業および森林事業を拡大し、CO₂ 削減効果拡大を図ります。
2024年までに農業事業において CO₂ 削減効果 4,200t-CO₂ 相当(400ha)、森林事業において削減効果 8,400t-CO₂ 相当(1000ha) を達成します。
- サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量を算定し(Scope 1.2.3)、具体的な対策を講じます。

2 循環型社会の実現に向け、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。



- 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。
- 2024年までに食品製造事業(ワタミ手づくり厨房)を中心とした地域において、各地域のリサイクル事業者・生産者と連携し、食品リサイクルループを構築します。
- 食品リサイクルを強化し、外食事業では 60%、食品製造事業では 100%の再生利用等実施率を達成します。
- 食品ロス削減を目指し、外食事業においてお客様とのコミュニケーションにより食べきりを推進し、2030年までに 50%削減を目指します。
- 宅食事業においてエコ容器を使用し、使用済み容器の回収リサイクルによる資源循環を実施します。
- 2024年までに全ての弁当容器にエコ容器(バイオマスプラスチック含有 10%以上を使用した容器)を採用します。
- お客様から容器を回収し、容器原料に再資源化する「使用済み容器リサイクルループ」を構築し、海洋プラスチック汚染を防止します。
- リターナブルピンのリユースを継続します。

3 自然共生社会の実現に向け、生物多様性保全活動を推進します。



- 有機農業に取り組むことで、土壌を保全し生態系を守ります。
- 2024年までに農業事業で有機農場 400haへ拡大します。
- 環境配慮型農業で生産された有機農畜産物を外食事業でお客様へ提供し、その有機・特別栽培食材比率を 60%にします。
- 持続可能な森林事業により、劣化した森林を回復させ、山地生態系の保全を図ります。
- 2024年までに森林事業(森林経営計画に基づく)を 1,000haへ拡大します。

4 持続可能な社会の構築を目指し、社内外で SDGs 達成のための教育を推進します。



- 全従業員に、ESD(SDGs を達成するための人材教育)を年 7 回実施します。
事業活動においては関係する取引先、お客様、地域社会とパートナーシップで SDGs の達成を目指します。
- 社会貢献や森林保全活動に取り組むため、ボランティア活動や「ワタミの森づくり」の活動を促し、社会貢献・森林保全活動に取り組む公益団体(NPO 法人等)と連携を図りながら、毎年 2,000 名以上の参加を目指します。
- 小学生を対象として実施している北海道わたり自然学校やワタミファームでの環境教育・食育活動など、将来を担う子どもたちに対して ESD を踏まえた環境教育に努めます。

ワタミグループは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。